



◆自律性を伸ばす ◆実践力を身に付ける ◆連帯感を深める

# 柏の芽

令和2年11月2日

11月号

練馬区立中村中学校

校長 大石 光宏

## コロナから考える「ふれあい月間」(前月に続き、考えるシリーズ2)

校長 大石 光宏

「コロナウィルスの影響から我々の生活が、変化しようとしています。」

このような言い回しを多くの場面で聞くようになりました。大学生のリモート講義受講や会社に出社しなくてもできる ZOOM (ズーム・パソコン上で画面と音声を作りとりする方法です) を活用したリモート会議などの新しい生活様式の話は、世の多くの方々を知るところとなりつつあります。パソコンを活用したとても便利な方法として、認知されつつあるわけです。

本校でも、これまで体育館に全校生徒を集めて行っていた朝礼や生徒会選挙などでは、密を避ける方法として一つの学年は体育館に集めず、その学年は ZOOM を使って教室に送られた同時配信の画像を見て参加することを行っています。

コロナの影響からこれまでの方法とは違うやり方を考え実施し、その状況を見てみると様々なことに「これまでの当たり前」の見直しは必要であるように感じました。

私も時折、その ZOOM を活用させてもらい、会議に参加することがあります。

ところが、その ZOOM 会議が疲れます。パソコンの画面に映し出された幾人かの正面画像から参加者の表情を見て、それぞれの発言に耳を傾け続け、1時間もすると疲れてしまいます。直接対面して行く場合、多くの人の発言を聞きながらも、発言していない人の顔を眺めたりして、どこかで息抜きをしながら、参加しているのかもしれない。

11月は、「ふれあい月間」として、東京都・練馬区が定めています。本校では、一足早く先週から、3年生では進路に関わる三者面談を主に行い、1・2年生は担任と生徒一人一人との面談を行っています。担任の先生と直接話をしてもらい、普段の集団生活の中ではわかりづらい各生徒の生活状況や考えを担任が知る機会です。これをパソコンを通して実施した場合、どこまで生徒たちとの話を広げることができるか、なかなか難しいと思います。

今後も我々の生活の一部は確かに、変わっていくことが予想されます。それは、コロナだけでなく、環境問題や人口問題等々の日本社会における課題が多く影響していきます。コロナの影響に対しては、一喜一憂せず、我々の安全と QOL (生活の質) のバランスを考えて変化を取り入れることが大事です。

練馬区から貸し出されるタブレットを手にする生徒たちには、タブレットを自ら活用する力を身につけながら、直接人と人との「ふれあい」や「心のつながり」を大事にできる力も身につけてもらいたいと思っています。

※ 10月20日に延期して開催させて頂きました「運動会」ですが、3年生の保護者の皆様に参観頂きました。1・2年生の保護者の皆様には、密を避けるための措置として、参観を制限させて頂きました。ご理解とご協力をありがとうございました。



## これからの主な行事

11月 2日(月)部長会

3日(火)文化の日

6日(金)心臓検診

7日(土)土曜授業日(午前)3年生 3年F組

9日(月)朝礼 委員認証式 安全指導

11日(水)定期考査Ⅲ /13日(金)まで

13日(金)離任式 (2, 3年生は体育館。1年生はZOOMで行います)

16日(月)一斉委員会

14日(土)学校公開日 オリンピック・パラリンピック講演会(午前授業)

18日(水)貧血検査(1年)

19日(木)耳鼻科検診

20日(金)避難訓練

23日(月)勤労感謝の日

26日(木)地域清掃(1年生)

12月 2日(火)三者面談(3年生) /8(火)まで

9日(水)職員会議

11日(金)安全指導

12日(土)土曜日授業(午前)

14日(月)ZOOM朝礼 保護者会(1, 2年生)

16日(水)一斉委員会

19日(土)土曜日授業(午前)3年生 3F登校日

21日(月)セーフティ教室(情報リテラシーについて)(株)KDDI様による講演 ZOOM使用予定

22日(火)避難訓練

24日(木)奉仕活動

26日(土)2学期終業式



(運動会での3年生の一致団結の様子です)



(食育もESDに入ります。本校のホームページもご覧ください)

## コロナ禍の運動会

様々な行事が中止、延期を余儀なくされる中、種目の削減や変更はありましたが、開催することができたことを嬉しく思います。運動会2週間前から取組が始まりましたが、練習している姿はとても生き生きとしていました。当日は運動会実行委員を中心に学級、学年、学校が一つとなり、生徒たちが限られた中で一生懸命取り組む姿に感動した次第です。また、開会式での吹奏楽部の演奏も素晴らしかったです。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

教諭 木幡 祐

## ESDの研究進捗状況

今年度からESD(持続可能な開発のための教育)の研究に教職員一同取り組んでいます。講師として、学校法人自由学園の成田喜一郎先生、練馬区教育委員会指導主事市川朋基先生に指導助言をいただいています。指導助言を受け、「ねらい」や「振り返り」などをポイントに、生徒の意欲・関心を引き出せるよう、授業改善を行っています。2年生は総合的な学習の時間を使ってSDGs(持続可能な開発目標)のシンボルマークの作成にも取り組みます。また、通常学級からF組との交流、12月には生徒へ変容アンケートをとり、分析していく予定です。

研修部主任 教諭 金城 慶吾